

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年3月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4698900018
法人名	有限会社 笑風会
事業所名	グループホーム ゆい
所在地	鹿児島県奄美市笠利町喜瀬2437番地1 (電話) 0997-55-2278
自己評価作成日	平成27年1月24日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成27年2月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域密着型サービス事業所として、地域との係わりを大事にしています。家庭で居た時と同じように集落の行事へ参加しており、11月の頃は集落の方が施設へ出向いて施設中庭で入居者と一緒に八月踊りを踊られるなど、昔から行っている島の行事を体験しています。その時々外部の方が訪問され、顔なじみの関係が築かれています。又地域の老人会も年1回は施設で開催され、交流会の場となっています。近くの小学校では認知症サポーター養成講座を開催。子供たちが認知症について学習した後、施設を訪問。子供たちとの交流会も毎年行っています。職員は認知症に関する研修会を行い、認知症の症状の理解に努め、ご本人のできる事を大事にしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・行政からの呼びかけで老人クラブの会をホームに招いて、お茶を飲みながらの交流会を行っている。
- ・豊年祭の時は地域住民をホームに迎えて、事業所の庭で島伝統の八月踊りや六調を全員で踊り、車椅子の利用者も手踊りする等、交流会を行っている。
- ・家族会の呼びかけで近隣の学校から、職場訪問で先生や生徒達との活気あふれる交流会を毎年開催している。
- ・事業所所有のタンカン畑で利用者や職員・家族など、タンカン狩りを楽しみ、車椅子の利用者も楽しめるように支援している。
- ・老衰での看取りは、管理者や職員・看護師等で清拭を行い、他の利用者と共に自然の形で見送りをしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の朝の申し送りの時間や毎月1回の職員会議で具体的な場面と理念を結び付けられるよう努力している。	1・2ユニット合同の朝の申し送り時や毎月の職員会議時に理念を全員で唱和し共有している。カンファレンスで理念について「その人らしい生活とは」「自分達がケアする意味は」「手伝う事はどんな事か」を考えて声かけするように意識付している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎年地域の行事に参加している。豊年祭の時期には地域の方が来られ、施設の庭で奄美の八月踊りを入居者と一緒に踊り交流されている。また年1回は老人会を施設で行い交流の場となっている。	事業所での地域交流イベントの時に、利用者も八月踊りの輪の中に入って一緒に楽しんだり、車椅子の利用者も手踊りで楽しんでいる。小学校との交流会は生徒達の雰囲気が良く、1対1の会話も良く弾み、車椅子を押したり、利用者の部屋に誘って貰ったりする等の光景も見られる	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	毎年地域の小学校との交流会を行っている。今年学校では認知症サポーター養成講座を開催・管理者もグループホームの紹介を行った。交流会では事前に子供たちが認知症について学習してきた成果が見られた。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では事業所の状況報告を行い、参加者から運営などの助言を頂きサービス向上に活かせるようにしている</p>	<p>会議は定期的開催しており、外部評価を受ける事や結果なども報告している。家族会から学校との交流の意見や行政職員からは感染症の予防・虐待の話があり、研修会を行っている。ターミナルケアの利用者の件で家族の想い、職員の想いを伝え、メンバーから多くのアドバイスを貰ったりしてサービスの向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議に参加いただき事業所の実情は報告しており、事業所の活動は理解を得ている。また市町村担当者とは常に電話やメールで連絡を密に取り合っている。</p>	<p>町担当者から研修会の開催の知らせや虐待等の新聞の切り抜きを通して話し合ったり、地震の時には確認の連絡を貰ったり報告を行っている。事業所として困難事例や介護記録等を相談してアドバイスを得ている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員会議などで身体拘束に関して話し合いお互いの認識の共有を図っている。状況によってはその都度代替策を話し合い拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止の研修を年1回行っている。新人職員には関連資料を渡し、ケアを教える時に拘束についても研修している。職員間でお互いに注意し合っている。日中の玄関の施錠はせずに、夜間のみ施錠している。外に出る事を好む利用者には職員の連携で一緒に付き添い散歩を楽しんでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている</p>	<p>年に1回虐待防止研修会を開催。外部から講師を依頼。研修を通して職員が適切なケアができるよう努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>制度利用の必要性のある利用者があるため、社会福祉協議会の担当者と連携を取っている。また助言もいただいている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>制度の改定の変更については文書及び口頭で説明しご家族の理解を得られるように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>ご家族が面会に来られた際、職員や管理者に要望を出来る限り伝えてもらえるような雰囲気やコミュニケーションを多くとっている。</p>	<p>玄関に意見箱を設置している。来所時に利用者の状況を伝え、要望や意見を聞いている。家族から、医療機関への受診の際等はできるだけ歩かせて欲しいとの要望を受け、運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1回の職員会議を開催しており管理者や代表者は職員の意見を十分に聞き反映できるように努めている。</p>	<p>管理者中心に職員で自由に話し合っている。部屋の模様替えや臭いの件に関して職員から提案があり、運営に反映させている。美容師の資格を有している職員からの提案で、男性利用者の散髪をバリカンで行い利用者から喜ばれている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の勤務状況や実績を把握し向上心が持てるような環境整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内外の研修に参加できる機会の確保をし、職員育成に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会への参加や研修会を通じて同業者との交流を行っている。又他の施設へ訪問し情報交換などを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の生活歴や、好みなどの情報収集を行い安心できる関係づくりに努めている。又認知症の症状による不安を職員同士が把握できるように話し合っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族との話し合いの場を設け情報交換を行い、できるだけ安心や信頼関係が築けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族から日常生活の情報収集を行い、ご本人や家族の思いも含めて必要とする支援を計画作成担当者や職員と話し合っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員はご本人を人生の先輩だと尊重し、認知症の症状からできなくなってきた部分をフォローしながら、できることを支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族も悩みながら関わっていることもあり、職員はそのことを理解し本人と家族の絆を大事にしていくように心がけている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自宅へ帰られる方や、お祝いや家族の集まりで出かけるなど、外出や又施設での面会がいつでもできる環境を作っている。	友人が利用者との面会に来てもらったり、ホーム便りを職員が2ヶ月に1回家族に出して近況を伝えている。利用者の馴染みの店へ買い物に職員と一緒に出かけている。年の祝や結婚式に参加したり電話で家族と会話したりする等の支援も行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員がコミュニケーションの橋渡しを行い、お互いが理解しあえるように努めている。又気の合う者同士、食事の席を近くにする等考慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院されても医療機関への情報提供や面会、ご家族と連絡を取り合い状況の確認を行っている。退去された方でも再入居された方もいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりからご本人の想いをくみ取り、表情や言動から本人本位になっているか検討している。	利用者と一緒に暮らしていく内に理解できたり、日誌に気づいた事等を記録して把握できるようにしている。困難な利用者は記録をもとに家族等に聞いたり、表情等から本人中心に検討している。言葉が出ない利用者が八月踊りを介して表情や言葉数も多くなっている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族からこれまでの生活に関する情報をその都度収集している。又若いころの写真などから暮らしぶりが感じられ経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	食事の形態（おかゆ、トロミ）や睡眠時間、入浴、起床時間等一人一人の生活リズムに合わせたケアに努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	個別にケア記録を記載しており職員間の情報共有を行っている。新たな課題や、ケアの具体策などは職員で話し合い、いろんな意見を出し合い介護計画に反映している。	介護記録の書式を検討し、職員間の情報の共有が進み、支援のアイデアにも反映し、介護計画に良い結果が出るようになっている。半年に1回モニタリングをしている。介護計画は利用者にも参加してもらって現状に即した計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子は、朝、夕の申し送り で情報を共有している。又個別 記録からも情報の共有ができ ており実践に活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々 に生まれるニーズに対応して、 既存のサービスに捉われない、 柔軟な支援やサービスの多 機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご本人の体調が悪い時には、 ご家族に来ていただいたり、 又は職員とドライブに出かけて 外の空気に触れる機会を設ける など行っている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支え ている地域資源を把握し、本 人が心身の力を発揮しながら 安全で豊かな暮らしを楽しむ ことができるよう支援している</p>	<p>集落行事への参加で、地域 の方が施設に集まり八月踊り や六調を利用者と一緒に踊り ます。昔からの風習を楽しま れています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希 望を大切にし、納得が得られ たかかりつけ医と事業所の関 係を築きながら、適切な医療 を受けられるように支援して いる</p>	<p>ご本人やご家族の希望する かかりつけ医との連携を図り、 受診ができるように支援して いる。又受診への付き添いも 行っている。</p>	<p>利用者や家族の希望するか かりつけ医での受診を支援し ている。受診時の送迎や付き 添いは殆ど事業所の職員が行 っているが、受診時にはでき るだけ家族同席を依頼してお り、家族と医療機関で待ち合 わせをして受診している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>状態観察を常に行っており、変化が見られたときは看護師へ連絡し、医療機関との連携を図り、必要時は受診を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院した際は医療機関へ入居中の情報提供を行っている。又、病院へお見舞いに行き医療機関との関係づくりに努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>状態が悪化した時にはその都度ご家族と細かいことまで話し合い相談している。その時は事業所でできることやできないことを説明し方針を共有している。</p>	<p>重度化や終末期のあり方について、契約時に重度化で医療が必要になった時、退所という方向で説明している。老衰の利用者で看取りを希望され、家族に寝泊まりをして貰い、最後の3日間、主治医から色々のアドバイスを受けながら管理者や職員・家族・看護師・事業所の利用者等、全員で自然の形で見送ることができた。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時には管理者に連絡を取るようになっている。応急手当や、蘇生法の研修を職員は受けている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>事業所、地域、消防との合同火災訓練や、施設内避難訓練を行っている。</p>	<p>年2回、避難訓練を実施し、そのうち1回は集落と消防との合同で行っている。事業所で火災発生を想定し、AEDを使用しての救命訓練も行い、夜間想定 of 訓練も年1回行っている。火災報知器も備え付けられ、利用者への意識づけも行っている。災害非常用の備蓄として、ペットボトルの水やおにぎり・缶詰等を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>ご本人が恥ずかしい思いをしないよ配慮した対応を心がけている。</p>	<p>年1回プライバシーの確保についての研修を行っている。職員間でもお互いに注意し合ったりしている。言葉かけに対しての話し合いを行い、人格を尊重し誇りやプライバシーに配慮した支援をしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>ご本人の想いを日ごろから把握するように努めており、顔の表情なども読み取り自己決定しやすい雰囲気を作るようにしている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ご本人の体調や気分によって遅い朝食を取られたり、入浴日をずらしたり、と日々希望に沿った対応に努めている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>髪のカットや希望によってヘアカラーや清潔な服装に心がけて支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>職員と一緒に調理の下ごしらえや食器洗いなどができるよう支援している。又職員と一緒に食事も楽しんでいる。</p>	<p>利用者個々の力量に応じて、ネギの下ごしらえや玉葱の皮むき・味見等をしている。一緒にメニューを考えて何が食べたいのかを聞き調理している。買物に出かけたり、天気のいい日に園庭でおやつを食べたりする等の楽しみも支援している。ホットプレートでおやつを作り、下準備で混ぜるのを利用者が行い、職員が焼く等の共同作業も楽しんでいる。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>好まれる方へおかゆを提供したり、むせこみのある方はトロミを使用するなど状態にあったものを支援している。又水分を摂ってもらえるようお茶以外のものも提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後口腔ケアへの声掛けを行い、ご自分でできる方は見守りを行い、できない方へはケアの支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のパターンの把握やご本人の能力やその日の体調によってリハビリパンツか、布パンツの選択を行っている。	日中はリハビリパンツや布パンツを適宜交互に使用している。自力で排泄できる利用者には声かけのみで、トイレ誘導の利用者には時間を見て声かけを行いトイレに誘導している。食後や散歩に行く前にもトイレへの声かけを行っている。夜間はトイレ誘導とパットを使い、ポータブルトイレ使用の利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や、スキンミルク、繊維質の食物を提供。緩下剤などの調整を主治医と相談している。	/	/
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	午後から入浴を行っており、ご本人が入りたくない時は日にちをずらしたり、清拭を行っている。	週2回入浴できるよう支援している。入浴拒否の時、声かけや職員を変えて入浴して貰うが、どうしても入らない利用者は清拭で対応している。日にちをずらして入って貰っている。冬場はタンカンに穴を開けて浴槽に入れ香りを楽しめるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	寝つけない時や好きなテレビを見たいときにはフロアで職員とお茶を飲みながら過ごすなど安心してもらえるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は薬の理解をするように話し合っている。状態の変化があったときは報告するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	島唄を聴いたり、歌ったり、買い物や散歩など一人一人の好きな事や気分転換の把握をしている。又職員と一緒に洗濯物をたたんだりご本人の役割への支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	職員と近所への買い物や、要望があったときは家族にも声をかけ食事会への外出。お盆の時の外出や花見、タンカン狩り等希望に沿うように支援している。	天気を見ながら希望に添ってホームの周りを散歩している。事業所所有のタンカン畑に出かけ、利用者みんなでタンカン狩りを楽しんでいる。3ヶ月に1回、町内巡りを行っている。家族が年1~2回、面会時に外食に連れて行ったりしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご自分でお金をもって買い物ができるように支援している。職員が付き添いお菓子や、日用品などの購入を支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご本人から家族への電話はいつでもできるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者が作った作品が壁に飾り（今年の干支の絵等）フローアーには植物を置き室内の温度調整を行っている。洗面所には椅子が設置している。脱衣室には温度差がないように暖房で温めている。</p>	<p>共用のホールは広くて明るく、職員と利用者が協力して作成した貼り絵の作品が飾られている。近くの小学校の生徒達と交流した時のホームで経験した生徒達の作文等も掲載されている。食堂からは調理時の賑やかな音やおかず等の食欲を増す匂いが漂っており、利用者と職員も食事を前に弾みのある会話も見られる等、居心地よく過ごせる共用空間となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の合った利用者同士と一緒に食事ができる配置や、一人になりたいときはソファに座りゆったりしてもらうなど工夫している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人が使っていた椅子や孫の写真、家族の写真等を壁に貼っており居心地よく過ごせるようご家族にも相談している。</p>	<p>居室には利用者馴染みの家具や寝具が持ち込まれており、家族の写真や自宅で愛用していた小物類等が利用者それぞれの個性に応じて飾り付けされており、本人が居心地よく過ごせるよう工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下の歩行中「手すりを掴んでくださいね」と意識していただくような声掛けをし、すぐ介助せずできるだけ見守りながら行っています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない